

【新聞掲載】加藤亜記准教授の研究成果が長崎新聞に掲載されました

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の一つ、「原城跡」（長崎県南島原市）の沖に、最干潮時に出現する浅瀬「白洲」があり、船で上陸体験できる観光地となっています。加藤亜記准教授らの研究チームは、この「白洲」が、海藻の一種「紅藻サンゴモ類（サンゴモ）」が球状に成長して集まり作られた藻場であることを明らかにしました。

研究により「白洲」を作るサンゴモ球は、10種にもおよび、このうち2種を新種として発表しました。

本記事は、2025年1月13日の長崎新聞朝刊に掲載されました（長崎新聞提供）

詳細情報：【研究成果】2新種を含む10種のサンゴモ球を世界文化遺産・原城跡沖にある「白洲」から発見